

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ

平成26年8月29日

www.yamagata-rinri.net

volume

38

笑顔の伝承。

平成26年度 会長挨拶 五十嵐 慶三

「この一年」 p.2

勇壮なる飯豊連峰の懷で、地域の未来を考える

第22回ブナ文化フォーラム p.6-8

倫理経営企業訪問・えがおのげんば

株式会社 エツキ p.12-15

- 拡充成果発表会 p.3
- 祝 設立10周年 p.4-5
- 女性倫理講演会 p.9
- 山伏修行体験塾 p.10-11
- 単会 TOPICS p.16-21
- 最上川をよむ。p.22
- 笑顔でおはよう p.23



一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

「この一年」

山形県倫理法人会 会長 五十嵐慶三

今年は、周年事業が県内3箇所で開催され、それぞれの特徴を活かしながら、地域社会の発展と、相互信頼の輪を拡げることができました。第22回目を迎えた「ブナ文化フォーラム」においては、初代会長の本間利雄先生の発案による「ブナ



の原生林」を舞台として、本年度も壮大な大自然のふとこに入りながら、この世の全てが、自然と調和しながら生き続けている姿に学び、「地球倫理」の推進活動が続けてまいりました。この事業の最大の特徴は、無秩序な日常生活において、我々人間に一番欠けている部分を、大自然が語りかけてくれることです。永年地道に活動を続けてきた功績に対し、山形経済同友会から、「地域づくりのやまがた景観賞」にノミネートされ、「奨励賞」を頂戴することが出来ました。地元、小国町の皆様方のご理解もあり、継続することが出来た事業であります。地元、小国町、盛田町長さんをはじめ、数多くの方々をお迎えし、盛大に喜びを分かち合い、大いにこれからも共に力を合わせ、協力し合うことをお誓い申し上げてまいりました。とても嬉しいことでもあります。



私達の地元、山形県には郷土色豊かな文化、郷土食を活かした美味しい食べ物、郷土師を活かした優れた品物、郷土職を活かした「優れた人材」等々、数多くの「お宝」があります。これらは全て、我が郷土人「やまがたびと」が創り上げてまいりました。地産地消、あるいは地域循環型社会の形成など、地域住民の協力体制面においても、「日々好日」、今日はまたとめぐって来ません。先人たちが、「やまがたらしさ」に誇りを持ち、今日をとりがさず、「生活文化」を伝承、コツコツと言い伝えられ、現在に至っているのがあります。世の繁栄には、自分磨きと社会の為、人の為を目標として働くことが必須です。ここ最近会員同士の情報交流、県外のモーニングセミナーに参加される会員も増えてまいりました。法人レクチャーとして巡講先の単会との交流をキッカケとして、山形県に来訪される他県の会員さんも徐々に増えてまいりました。「日本創生」を旗印に、今年度は「やるも・やらぬも、全ては、己が主役」をスローガンに掲げ、会員資質の向上と、会員増強を目標



として、日常の生活法則に則った活き方を模索、実践してまいりました。特に年度後半は、県役員「単会1社、他単会1社」を拡大目標として、それぞれ役員が自発的に取り組まれることを推奨してまいりました。このことは決して苦難の押し付けではなく、「純粹倫理」を正しく学び、日々実践していれば、ごく当たり前のことであります。もし行動に移すことが嫌で拒否反応が出るようであれば、せつかく善くなるチャンスを取り逃がすことになってしまいます。残念な結果となる前に、早く一步前に踏み出してみましよう。

平成26年度拡充成果発表会

8月8日(金)山形グランドホテルにて拡充成果発表会が開催されました。五十嵐慶三県会長の挨拶に始まり、これまでの経過について以下のように述べられました。今年度は、「日本創生」10万社、「拡充」をキーワードに掲げた3年計画の2年目にあたります。法人局活動方針に則り、単位法人会の活性充実を最優先に、各種活動が展開されています。そうした中、山形県倫理法人会の最優先課題は、単位法人会の「資格復帰に向けた」活性拡充であり、組織を牽引するリーダーの育成と人材発掘を行ない、堅実な普及活動による確実な成果を表現し、目標に向かって



て一歩ずつ着実に進んで行きたい。それには、早目に行動を起こすことが大切です。年度末普及に偏らず、毎月入会数を上げるよう改善するこ

とです。現時点で目標達成が4単会、あともう少しのところを3単会というところまでできました。これからまた、年度末まで「内外拡充」「上下一心」、役員が心を一つにして、さらなる上積みをしていきたいと思います。協力を呼びかけました。

津隈亮二方面長の挨拶では、達成単会の特色として、純増が3単会であったことを報告されました。そして、津隈亮二方面長の挨拶では、達成単会の特色として以下のことを挙げられました。1. 会長が目的、目標(皆で決めたこと)を捉えて、明るく言い続けていること 2. マニュアルを大切にしていること 3. おもてなし利他の精神 4. 会長を中心に実践している(会員の言葉を素直に受ける) 5. 会長と専任幹事が仲が良い 6. 倫理を信じて取り組む 7. しつかりと、誰につながっているのかがわかっているといざというときの力が沸き起こってくる(家であれば親、会社であれば創業者)。

次に、相田晃輔県普及拡大委員長により1年間の成果発表があり、大変厳しい状況ではありましたが、皆拍手で労をねぎらいました。その後単会の拡充成果発表を行いました。特に米沢市と山形市中央倫理法人会の活動内容は次の通りでした。米沢市倫理法人会の坂野昭一普及拡大委員長は「入会者は幸せになれると実感、日本創生10万社を心に、活動が楽しい。」とのお話をされました。



山形市中央倫理法人会では、「曜日を決め、毎週集まり普及活動を行いました。普及活動という言葉は使わずに、継業塾という名で様々な学びを36回続けました。心を一つに楽しく続けたことが成果につながった」と、布施富将会長の言葉には力が感じられました。最後に中村恒一法人アドバイザーの総評をいただきました。嫌わないで全部受け止める、腹に据える、役を全うする、完遂することが大切です。なんとかなるといふ気持ちでは必ず失敗する。失敗をすると言いつつ考えます。一方これだけはしっかりとやらなければ、というときは神頼みです。神様とつながるということ。神頼みは、神に頼むのではなく、神に誓うのです。「神様お願いします。何とか助けてください」には神は「知らんよ、勝手にやれ」となります。ところが神様に「必ずやります」と毎日誓ってますとそうなるんですね。それも幾度と無く、そういう実践の体験を私は持っています。私たちの普及拡大の仕事は、本当はものすごく自分を向上させる、最も最大の実践です。創始者丸山利雄先生が言っている「幸せになりたいんでしょう? 幸せになれるよ、幸せになりましょうよ」ということで万人幸福の葉はあるのです。その葉を心から信じてその通り生きて行く事があります。約束事を実行しましょう。

おめでとうございませす!! 祝 設立10周年

山形市蔵王倫理法人会・酒田市倫理法人会・
鶴岡市倫理法人会の各単会の会長より、
絆を繋いだ10年の軌跡を振り返って頂きました。



山形市蔵王倫理法人会

会長 板垣喜代志

おかげさまで我が山形市蔵王倫理法人会は設立10周年を迎えることができました。これまでの歴代の会長はじめ、多くの会員諸氏にあらためて感謝申し上げます。

会員の皆様と10周年の喜びを分かち合うために、6月28日(土)、ソウルオリンピックゴールドメダリスト鈴木大地氏を講師に迎え、記念講演会を山形市中央公民館大ホールにて開催しました。会員、倫友の方はもちろん、水泳を学ぶ子どもたちの参加も大変喜ばしいものでした。また、式典・祝賀会を山形グランドホテルにて行いました。

「蔵王は集める集団ではなく集

まる集団」と声にしていましたが、自ら進んで動いてくださる役員の方々の温かさに感動し、感謝の気持ちでいっぱいです。山形舞妓に負けじと思ったのでしようか、女性委員会の着物はサプライズでした。会員が楽しめる単会で、今後はさらに仲間を増やしてまいります。

「蔵王は集める集団ではなく集まる集団」と声にしていましたが、自ら進んで動いてくださる役員の方々の温かさに感動し、感謝の気持ちでいっぱいです。山形舞妓に負けじと思ったのでしようか、女性委員会の着物はサプライズでした。会員が楽しめる単会で、今後はさらに仲間を増やしてまいります。



板垣会長



鈴木大地氏



酒田市倫理法人会

会長 木田昭三

酒田市に倫理法人会が誕生したのは平成16年6月29日です。記念式典に出席し、行動旗の授与を行われたのを今でもはっきり覚えております。しかし最初の時期は、倫理という言葉が明確に把握出来ませんでした。企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を、とのスローガンに、企業トップ自らが純粋倫理を学び実践することで、社員の気持ち、行動を変え社風をよりよい方向へと変え、企業の健全な繁栄を目指します。ということに共鳴も致しました。設立以来今日までの道程を振り返れば順風のとき

もあり、逆風の時もあつたように思います。そんなことを思う時、会の運営に関してもいい加減な気持ちでは出来ないかと常に自分はいきかせています。酒田市倫理法人会は10周年を通過点とし、これからも更なる発展を続けます。とかく倫理というと思っただけ、聞いただけでは堅苦しく聞こえますが、まずは約束を守ることから始め人の信頼を得ることがはじめの第一歩です。それに素敵な仲間づくりで人間性の幅をより広げていただきたいと思います。会を通じて様々な意見の交換が出来



鶴岡市倫理法人会

会長 栗本正幸

ます。きっと役に立つこと間違いありません。これからも微力ながら皆様方の

御協力を得ながら、会の更なる発展の為、がんばる所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

平成26年5月23日、グランド・エルサンにおいて、鶴岡市倫理法人会の10周年記念式典が開催され、五十嵐県会長始め、多くの他単会長がお祝いに駆けつけてくださいました。発足当時から会の運営に携っておられる、現相談役秋山周三氏(秋山鉄工株)代表取締役が、当時のエピソードを、笑いを交えて紹介され、和やかで温かい雰囲気の中、鶴岡らしい式典を終了することができました。その後、グランド・エルサンのチャペルで行われたミネハハ氏の記念ミニコンサートでは、氏の圧倒的な歌声に、感動のすすり泣きが聞こえるほどで、さらに会員の交流を深めるきっかけとなりました。

上げます。これからも、鶴岡らしい楽しい雰囲気、自然と人が集う会を継続できますよう、役員一同努力して参りたいと思います。



田部井淳子氏



五十嵐県会長



木田会長



熊谷相談役



こうして無事記念式典を開催できましたことは、皆様のお力添えがあつたことと心より感謝申し



秋山相談役



栗本会長





**自然と共生した
エコスクールの実践、
小国町立小国小学校**

「白い森の国おぐにの
原風景となる自然に囲まれた学び
舎」というコンセプトで今年3月に
完成したばかりの校舎を、小国町
教育委員会 教育施設管理主幹 遠
藤芳昭氏にご案内頂きました。設
計は本間利雄設計事務所によるも
ので、校舎内は開放的で明るく、



床・壁・天井に木材が使われてい
ます。木材を町有林から多用する
事で、子ども達が地域の温もりを
感じながら育ち、また、地場産業
の振興・循環型社会の構築にも一役
を担っています。中学校とは渡り
廊下で繋がりが小中一貫教育を推進
町全体で子ども達を見守り教育す
る場づくりの成果として、不登校
や保健室へ直行する生徒が激減し
たとのこと。

**小さな拠点づくりについて
ブナ文化フォーラム**

人口減少や高齢化が進む中、
過疎地域等における集落を維持す
るために国土交通省が全国で「小さ
な拠点づくり」を推進しています。
その26年度モニター調査の対象と
して、全国12地域の二つに小国町
が選ばれ、これを機に現況を調査・
分析、小国町の「強み」についても
改めて検討され始めました。町の
95%をブナ等の広葉樹林が占め、
その広さは日本一。日本百名山の飯
豊連峰と朝日連峰に囲まれた大自

然。古くから「マタギの里」として
知られる…など、豪雪だけじゃない
様々な「宝」を有する小国町の報告
をお聴きし、倫理法人会会員から
もアイデアが出されるなど活発な
意見交換会となりました。



勇壮なる飯豊連峰の懐で、地域の未来を考える
第22回ブナ文化フォーラム



地域から化石燃料の消費を
減らし、新しいビジネスと
雇用を生み出す

小国グリーンエナジー
合同会社* 実演展示場ペレットマ
ン小国店を見学しました。豪雪で
冬の長い小国町ではひと冬で何億
円もの暖房費を消費しますが、そ
の多くは外国や地域の外に出て行
く化石燃料代。小国グリーンエナ



※小国グリーンエナジー合同会社/ペレ
ットストーブ・新ストーブの販売施工及び木
質ペレット燃料の製造販売



道の駅「あいあい」で山菜料理の昼食会。

ジー合同会社はこの勿体ない状況
を変えるべくエネルギーの地産地
消を目的に設立されました。6年
前、1台のペレットストーブ販売
から始まり、震災後の需要を経て
今では年間約150台と普及のス

ピードが上がってきたとの事。製材
くずを原料とする木質ペレットが
地域の新しい燃料として定着する
事により、地域経済の活性化は大
きな一歩を踏み出します。

日程	
6/14	10:00 小国グリーンエナジー合同会社ペレットマン見学
	10:40 小国町立小国小学校見学
	12:00 道の駅「あいあい」昼食
	13:30 ブナ文化フォーラム (会場/旧小玉川小・中学校)
	15:30 小国地産エネルギー研究所 モミガライト実演 「ツール・ド・おぐに」参加者 交流
	18:00 飯豊梅花皮荘にて懇親会
6/15	6:00 樽口峠にてモーニングセミ ナー (講師/スタジオこぐ ま代表 大沼洋美氏)



飯豊梅花皮荘 (かいらぎそう) から望む。

昨年11月、山形県経済同友会が主催する
「第6回地域づくりのやまがた景観賞」奨励賞を頂いた受賞記念と題し、
この6月14日〜15日、小国町で開催されました。

前の晩は雨雲で覆われていた飯豊山ですが、MSでは素晴らしい山容を見せてくれました！



樽口峠にてモーニングセミナーを開催

東北屈指の名峰飯豊連峰を前に、野外モーニングセミナーが行われました。講師はスタジオこぐま代表 大沼洋美氏。小国町の休校舎をアトリエにしてアーティスト活動をしています。地域の子ども達との交流や、「ツール・ド・おぐに」の運営など、コミュニケーションもアートし、新しい感覚を地域に取り込みながら地域活性化に尽力されているお話を伺いました。一面綺麗な緑色のわらび群生地の丘を歩いて心地よい汗をかいた後、梅花皮荘に戻り「天地の恵みと多くの人々の働きに感謝して生命のもとをつつしんでいただきませう！」。



フォーラム終了後、サイクリングイベント「ツール・ド・おぐに」参加の皆様と交流。小国地産エネルギー研究所の移動式モミガライト製造機見学と、岩魚の塩焼き実演。



平成26年度女性倫理講演会
「ライフ・イズ・ビューティフル…
どんな時も大丈夫！」

6月28日(土)、平成26年度女性倫理講演会を山形国際ホテルさんで開催いたしました。講師は、米沢興譲教会主任牧師 田中信生氏「ライフ・イズ・ビューティフル…どんな時も大丈夫！」というテーマでご講演頂きました。



講演会にあたり、ご挨拶を頂きました五十嵐県会長をはじめご協力頂きました女性委員会の皆様、各単会の皆様、誠にありがとうございました。

今年の女性倫理講演会も、女性だけではなく男性も参加頂けるよう幅広く活躍されている講師の方をお願いしたいと思っておりました。また、今回の講師でいらっしゃる田中先生は、倫理法人会とも深く関わりがあり、丸山理事長とも親しい交流があるとお聞きしております。米沢ご出身で海外でも活躍されている先生のご講演は、米沢弁ありイングリッシュありのとてもユニークな講演でした。来場頂いた皆様からも、「良かった」「楽しかった」など喜びのお声を頂く事ができました。また、先生のお話の中に、「この地球上で未来を描けるのは人間だけ」という

言葉がとても印象に残りました。その描くものがマイナスなものなら、マイナスな人生、プラスなものならプラスの人生になる。同じ描くならプラスの人生になる未来を描きたいものです。

とにかく先生の講話の中には「前向き」「肯定的」という言葉が沢山使われていました。何か自分の目の前に起きたとしても「どんな時も大丈夫！」と前向き肯定的にとらえて、今おかれているそのことに感謝することが大事。と教えて頂きました。倫理の学びの「これが良い」と通ずるものがあります。苦難が来てもそれを肯定的にとらえて自己改善のチャンスとして行きたい。そんな前向きな気持ちになれたご講演でした。



女性委員会委員長 土屋玲子

性委員会の一番大きなイベントも無事終了することができました。重ねて御礼申し上げます。これからも女性委員会は元気で明るく朗らかに活動して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

山伏修行 体験塾

YAMABUSHI

前半組：7月7日(月)・8日(火)
後半組：7月21日(月祝)・22日(火)



大きく、今年

「冬の富士研、夏の山伏」をキャッチコピーにして進めて参りました青年委員会山伏修行体験塾は今年で3回目となりました。出羽三山。我が山形でこのように素晴らしい修行の場があることに感謝します。羽黒山と月山を舞台にした体験塾は、前半組が7月7日(月)・8日(火)・14名(女性6名、男性8名)、後半組が7月21日(月祝)・22日(火)・13名(女性5名、男性8名)で実施しました。昨年は大雨警報と雷注意報、洪水注意報発令され修行の一部が行えなかった悔しさが

も台風の上陸で修行への影響を心配しておりましたが、出羽三山の神々に歓迎されたようで穏やかな環境を与えられる状況となりました。(修行の為にはある程度厳しい環境の方が良いようすが流石！倫友の皆さんです) 修行内容は山伏の掟にある通り、「言わず語らず」のルールで全てをお伝えすることは出来ませんが、皆さんが参加したいと思えるキッカケになるように報告出

来たらと思います。青年委員会が主催する山伏修行は「体験塾」ではありませんが、通常の修行を元に作られたものでもあります。初日は羽黒山の山道と石段を登り降りするだけの修行から始まりますが、トレッキングとは勝手が違いますので足腰が悲鳴を上げることになります。そして、静かな光のない場所で見つめ直す座禅(の様)修行、締め切られた部屋で極限状態(の様)を経験する修行、を行います。各修行にはそれぞれ目的はありますが、自分を律して自身を省みる機会とするか、催しとして捉えるかで成果に大きな違いがあります。もちろん、耐えられない・負担が大き過ぎると感じた場合は、山伏と自分の判断で修行を中止する事ができます。



羽黒山石段登り



月山8合目



月山9合目付近



月山山頂付近



月山8合目

日常ではあまり体験が出来ない苦しい状況・理不尽と思ってしまうストレスがあるはず。その時に自身の弱い部分が現れ、どんな課題を持っているのか知る機会となります。参加者の皆さんは、「普段とだけ怠っていたか分かった」「もっと厳しいチャレンジをしたい」といった意見があるように、真摯に

しっかりと修行に打ち込んでいただくことが出来たと感じています。

そんな中、五十嵐会長から激励メールをいただきました。天候の影響を受けずに修行が成功するよう祈願いただいたことは本当に感激しました。感謝申し上げます。

2日目はメインイベントと言っても過言ではない月山登頂の修行です。早朝から最高の天気にお恵まれ8合目からの月山は春の陽気に包まれたような環境となりました。(修行という意味では優し過ぎます！)とは言え、地下足袋での登山・修行で出される食事の関係から、修行と言うに相応しい状況を体験できます。「何で修行に来ちゃったのかな？」と一度は脳裏を過るはず



月山へ出発



修了式

最後に滝打ちを行います。密かに一番の楽しみとしている人は少なくないのではないのでしょうか？ ともも気持ちが良いですよ!! 正直に申します。終わってみると本当にクタクタです。でも！全員が晴れ晴れとした顔をされるのは間違いありません。そして、厳しい環境と一緒に乗り越えた修行仲間には戦友のような気持ちになり、「二生の友」となるキッカケに出来るのではないのでしょうか。来年度も実施致します。倫理の実践を是非一緒に目指しましょう！「受けたもう！」

最後に、鶴岡市倫理法人会の皆様にはいつもご支援いただき本当に感謝しております。

(青年委員長 池田知之)



滝打ち



えがおのげんば



■ えがおの人
北村山倫理法人会 会長
早坂 幸起 氏
昭和39年 村山市生まれ



■ えがおの現場
株式会社 エツキ

[代表取締役] 早坂 幸起
[創業] 昭和42年9月
[所在地] 村山市大字稲下1403番地1
[営業品目] 各種自動化専用機・各種産業機械の設計・製作および販売(印刷機械・工作機械・端子圧着機械・食品機械他)
[受賞歴] 平成16年/村山市偉人賞
平成17年/山形県「ゆとり都山形イノベーション大賞」厚生労働大臣感謝状受賞

昨年設立した北村山倫理法人会の早坂会長が経営される(株)エツキは、印刷機械のユニット、食品機械等の製造に加え、国内でも数社しかない工作機械汎用フライス盤の製造メーカーとして、日本はもとより世界をフィールドに活躍する会社です。しかし、早坂会長の考える経営の原点は常に地域づくり、人づくり。地域に根ざした倫理経営のこと、プライベートルなこと等、早坂会長の素顔に迫ります。

社員の提案から 始まった挨拶立哨

毎朝7時半から30分間、一週間ずつ三人一組で挨拶立哨を行っています。月一回は全体朝礼をやっていますが、人数が多いと常に全員での朝礼はできません。「これでは社員同士のコミュニケーションがとれない」と、総務部から提案されました。

はじめた頃は照れもあったようですが、7年経った今では自然に声をかけられるようになり、社員同士も顔がわかるようになった等の効果が表れています。

始業の合図はラジオ体操の音楽。体操が終わると各部署で、職場の教養を使いながら朝礼を行います。どちらかというと、朝礼は当社のカラーでやってきた感がありますの



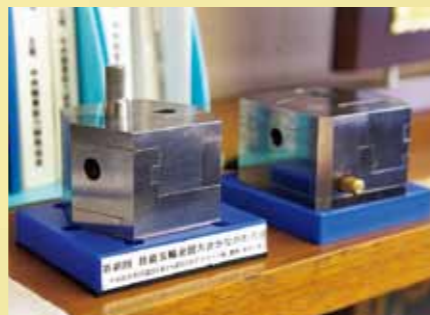
で、これから少しずつ活力朝礼を取り入れていこうと思っているところです。

国内屈指の技術力で、 機械を製造

当社は昭和42年にフライス加工をメインとした機械部品の加工工場として創業し、私で二代目になります。現在は産業機械等の設計・開発から製造までをトータルで手がけ、特

にオフセット印刷機械用の給紙装置や自社ブランドの工作機械「汎用フライス盤」をメインに製造。昔ながらの手動機械を作っているメーカーは、国内では当社を含めて三社だけになってしまいました。汎用フライス盤は、教育訓練用として工業高校の生徒たちが最初に触れる機械です。プログラムを使ったコンピュータ制御の自動機械に頼らず、見て聴いて、臭いをかいで振動を肌で感じながらモノづくりを覚えていくため重要な

もの。現在では北海道から沖縄まで、ほとんどの工業高校で導入していただいています。5年前からは技能五輪全国大会フライス盤競技の公式機械としても採用されています。



人を育てることが、 良いモノを生み出す基本

父親である現会長が創業したのは約50年前。二人で始めた会社も、今では120名になりました。父の思いを引き継ぎ、社長に就任したのは平成19年。職人上りの父は現場が大好きな技術畑、私は経理や営業畑と、それぞれの持ち味を分担してきた形です。「我々製造業は現場を大切にしていかななくてはだめだ。モノを作るのは人。人を育てていかなければ良いモノはつくっていけない。」これが、長年「現場力」を大切してきた父から教えられてきたことです。

「職場の教養」が 倫理との出会い

入会前から、当社が依頼していた会計事務所を通して「職場の教養」をいただき、社内で回し読みをしていました。社長就任後まもなく、当時天童市倫理法人会の専任幹事で同級生でもある水沢会長が



早坂氏の ある一日



5:00 起床

北村山倫理法人会の
モーニングセミナーは土曜日、
水曜日は天童市倫理法人会の
モーニングセミナーへ

6:00 モーニングセミナー

7:15 出社(朝の掃除は日課)



7:30 挨拶立哨

8:15 ラジオ体操

8:15 始業・部署ごとに朝礼

仕事

12:15 昼食

仕事

21:00 帰宅・夕食

22:00 仮眠

0:00 起きて入浴と読書
(愛読書は歴史小説♪)

2:00 就寝 zzzz...

山形県の人口減少率は全国の中でもワースト3。その中でも北村山は減少率が高い地域です。このままでは自治体、地域が無くなってしまふのではないかとという危機感さえ感じます。企業側としてはどうにかして雇用する場を残し、地元に着着する若者の受け皿にならないといけない思いがあります。そのためには「住みたくなる」ような地域としての魅力がないと…。倫理法人会だけでなく、街づくり、町おこしに頑張っている他の団体と協力しながら一緒にやっつけていかなければなりません。

他の団体と共に 地域づくり



個人的には、20年前から地元の国際交流活動の後方支援に携わっています。村山市とカナダバリー市の高校生との交流に協力したり、12年前にはモンゴルから山形大学に留学していた学生の「日本のような高校をモンゴルにもつくりたい」という望みを叶えるため、みんなで募金活動に協力して、学校建設の手助けをしたこともありました。現在もモンゴルからの留学生と東根工業高校(今春から村山産業高校)の生徒と一緒に進めている太陽光発電のプロジェクトを支援しています。

地元に残ってくれる 若者たちは『宝』

モンゴルでは、石炭を使った火力発電が主流のため大気汚染の問題が深刻。このことを解決するため、日照時間が長く、雨が降らない気象条件を利用し、遊牧民が暮らすゲルに太陽光パネルを設置することを考えました。毎年、夏休みには東根工業高校の生徒たちがモンゴルを訪れ、パネルの設置と交流を続けてきました。モンゴルの高校生たちは「国のために何かやりたい」という明確な高い目標を持っています。そうした同年代の若者と触れ合うことで、地元の高校生たちは自分の将来としっかり向き合うことを気付かされるようです。地元志向の強い生徒たちが多いので、「地域活性化のために何かやってみよう」という将来の夢を見つめるきっかけになってほしいですね。企業としても雇用面で協力していこうと思っています。



私達の行動指針

- 一、勤労は生きてゆく為の基礎である
- 二、信用は仕事の基本である
- 三、創造する気勢と努力こそが人間を支える
- 四、安全、品質、生産性は企業活動の基本である
- 五、企業活動とは産業を軸し実業に徹することである
- 六、場を守り、礼を正し、時を守るこそが信頼の第一歩である
- 七、仕事の良否の判断基準は常に「お客様の立場になっているか」「お客様に喜ばれるか」である

株式会社 エツキ

倫理の考えを 仕事に生かして

営業マンとしても倫理から学ぶことはとても多いです。例えば「お客

と仲間もできて、学びの中にも楽しみを見つけてられるようになりました。

様から依頼があったらすぐ行く、待たせない」「会社に戻ったらすぐにお札の電話かメールを入れる」「二人で行くより二人で」ということ。単会を立ち上げる時に中村相談役から「普及は楽しいし、仕事にプラスになる」と教えてもらいましたが、普及活動とも共通点があるんですね。



空白地帯だった 北村山に単会を

天童市倫理法人会が親会になって北村山地区に単会を立ち上げる話が持ち上がり、昨年1月に実行委員会が発足、2月に入るといよいよ本格的に動き出しました。ところが北村山は範囲が広い上に、例年以上の豪雪に悩まされたこともあり、委員会を開くのもままならない状態。それに加え、仕事の関係で月の半分は東京に行かなければならない状況になってしまいました。会長を引き受けたものの思ったように活動に加われず、周りの方々にご迷惑をかけてしまったことが何より辛かったですね。

若いメンバーが多く、チームワークが良いという北村山倫理法人会の長所を生かして、倫理の活動が地域や企業を元気にしていくことにつながっていったらと思っています。一年目なので、やれることは何でもやってみようという気持ちで頑張っています。自分も楽しめない活動は長く続けることはできませんから。



倫理経営講演会開催『繁栄の法則』倫理経営のすすめ』事業体験報告・朝礼実演

酒田市倫理法人会

去る5月27日(火)ガーデンパレスみずほにおいて、倫理経営講演会が開催されました。
進行の開会に続き、堀副会長のあいさつ。

事業体験報告に、コロナストープで馴染みある(株)コロナ、(株)コロナアグリ代表取締役の内田力(つとむ)氏。昭和36年からの幾度も困難を語る。豪雪により商品が運べない、4km離れた信濃川への徒歩運搬、船積み込みで新潟港から出荷。平成の大豪雨による工場の水没、4ヵ月後の中越沖地震による



工場が使用不能になり、平成19年7月の中越沖地震による工場崩壊、応

急処置での再開等何度も社員に救われた。待っているお客様へ、何としても届けたいとの思いがそうさせた。

創業精神の「誠実と努力」を貫いてきたから、乗り越えてこれたと熱く語る。ピンチはチャンス。スピーディとオンリーワンを目指すコロナイズムを話す。

記念講演に「繁栄の法則」と題して、法人スパーバイザー朝倉幹雄氏。会社経営において、得より信の大切さと祖先を崇い、自らの根っここの大切さを説く。朝起きこそ、自らが変わる事、喜ぶ事と説く。繁栄のキーポイントとは、
純粋倫理の生活の筋道、決められたルールは必ず守る。
親祖先を大切に、夫婦仲良く、を熱く語る。

庄内中央倫理法人会

庄内中央倫理法人会を紹介し、富樫幸吉会長を中心に近隣の

長井市倫理法人会



長井市倫理法人会を設立して7年目を迎え、年に一度の倫理経営講演会を5月20日にタスパークホテルにて、繁栄の法則「倫理経営のすすめ」と題して、中西康成倫理研究所総務局広報部部長の講話をいただきました。話しも楽しく、倫理に基づく倫理経営を学び、繁栄の法則と実践では、振り子の法則、利他に徹する事業目的を明確にして貫きとおす事。物は生きている法則は金



銭・物質を大切にすること。むすび「対立・合一・生成」の法則では、愛和の家庭・会社を作る事。生命源と生命発展の法則では、親に喜ばれる人生を送る事、を具体的な事例でとても理解できました。事業体験報告では、長野県倫理法人会相談役、(株)いとう代表取締役、徳武福司様より「倫理法人会の学びと実践から得た経営者として大切なこと」と題して、倫理との出会いから「純粋倫理」早朝勉強会での気づきを通して、倫理実践①活力朝礼②靴を揃える③トイレ掃除の実践の大切さ考え方を教えていただきました。数字の経営と心の経営では、実践チェック表を使い、自己管理を徹底する姿勢、必ず目標を達成する仕組作りの大切さを教えていただきました。動員目標200名に対し、118社206名(内未会員39社)の皆様が来場していただき、実行委員長としてお礼申し上げます。来聴者からも、心に響く話しと評判も良くお礼の言葉を多数いただきました。ありがとうございました。最後に準備に協力していただいたスタッフに感謝し、次年度に続けていきます。(実行委員長 高石一夫)

酒田鶴岡の皆さんの協力を得ながら毎週のモーニングセミナーを基本に希望の明日を切り拓こうと活動しています。5月22日に開催した倫理講演会では最上川第二回で紹介された(株)グローバルマシンの「朝礼実習」が行われ活力朝礼の素晴らしい実演を見せて頂き有難うございました。

私自身も含めて参加された皆さんも感動の朝礼実演だったと思います



倫理を!



す。会社の活力を生み出す第一歩は朝の朝礼をいかに生き生きとしたものにするかを痛感させられた実演でした。菅原社長、守屋工場長、社員の皆さん有難うございました。自分の会社でも、もっともっと改善して活力ある朝礼を行いたいと思いました。毎週の金曜日朝6時からのモーニングセミナーには、毎週素晴らしい講師の方々の講演を聞くことができ、普段我流に走りがちな自分を見つめ直す為に何とか毎週参加したいと思っております。(参加しなかった時に限って良い講演だったりますので是非毎週参加しましょう)入会2年目で倫理の事はまだまだ分からない事ばかりですが富樫会長、幹部の皆さんが富樫委員長を支援されるよう、先ずは毎週のモーニングセミナーに参加する事を基本に、会員の皆さんと共に地域に存在意義のある会になればと思います。(広報副委員長 大滝清雄)

米沢市倫理法人会

私は今回の講演会で司会進行を務めました。講師の先生方の講演を間近で見えて感じたことをレポートします。

「事業体験報告」は長野県飯田市倫理法人会の平田睦美会長でした。テーマは「苦難を喜ぶ」。まさに倫理の真髄といった内容です。平田会長は過去に病気で突然顔が動かなくなるといふ苦難に直面しました。それでも「これがよい!」とその苦難を「受けきる」ことで前向きになれる



自分になっていったそうです。「幸」という字は辛いという字に一を足す・辛いことを乗り越えてこそ始めて「幸せ」を得ることが出来るという話や、「有難う」という言葉は難しいことが有ると書く・難しいことに立ち向かってこそ本当の「有難う」に巡り合えるという話がとても印象的でした。



講演「繁栄の法則」倫理経営のすすめ」は倫理研究所法人局参事の三上忠男法人アドバイザー。倫理運動の創始者丸山敏雄先生の言葉から学んだことを今の世の中の事象に照らし合わせて、分かりやすくそして熱く語られました。倫理実践による経験の豊富さからでしょうか、壇上から溢れるバイタリティーが目に見え込んでくるような素晴らしい講演でした。会場で熱心に耳を傾けて聴いていたお客様は「倫理は明朗が一番」という言葉に強く共感したそうです。今年度の米沢市倫理経営講演会は大盛況のうちに幕を閉じました。(MS副委員長 遠藤一徳)



寒河江市倫理法人会

寒河江市倫理法人会平成26年度倫理経営講演会が去る5月22日(木)グランデール寒河江に於いて160名の来場者を迎え開催されました。

テーマは「繁栄の法則」。講師に倫理研究所法人局、朝倉幹雄法人スーパーバイザーと事業体験報告者 見附市倫理法人会幹事原田敏氏をお迎えしての開催となりました。



原田氏から「倫理の実践で運命は変わった」のテーマで事業体験報告がありました。

ひと言ひと言かみしめるような原田氏の報告は、次から次へと降りかかる災難の連続でした。そして最後に父親との確執を克服する様子を話されたときは、自分の父と重ね合わせていました。

そんな苦難の中、ずっと前を向いて倫理を実践されているという報告をお聴きして、正直苦しくさえ感じました。

朝倉法人スーパーバイザーから

北村山倫理法人会

北村山では初めての倫理講演会となるため、2月初旬に実行委員会を立ち上げ、動員目標120名でチケットの拡販に奔走。あまりにも早めのスタートで活動自体の中心はあつたものの、北村山持ち前のラストパートで、実質販売件数を187と大きく伸ばすことが出来ました。当日の運営についても、役員各自が、他単会の講演会に参加するなどの事前学習により、トラブルもなくスマートな運営ができた事改めて、感謝申し上げます。

国武様の講演においては、倫理との出会いに始まり、気づきと実践の体験談をお話し頂きました。遠く離れた病身の母への葉書が引き起こした奇跡、よい食べ物を届けたい熱意から、ついにクリーム色の発見等の話は、聞く人を引き込んで魅了しました。吉川様の講演に於いても、倒産の原因という、繁栄とは反対の切り口から始まり、松坂投手の大成に至るまでの恩の自覚についてのお話は感嘆しました。両講師からは、誰にでも出来る「身近な小さな実践」を徹底することが

新庄最上倫理法人会

は「繁栄の法則」について、氏の体験を通し倫理をわかりやすく解説していただきました。初っぱなから、倒産する会社の条件ということで、いきなり緊張のお話で、あげられた6つの条件の内「4つも該当するな」と心中穏やかではあり



でも、その次に話された再生できる会社の共通点に話題が移り、朝起き、素直、姿勢、明るいなど、意識して実践すれば「まだ望みがあるかも」と安心致しました。

最後に、天職に生き抜く、ここに100%全力投球という言葉で締めくくられました。

来場者を増やすという課題は残ったものの、心に染みる講演会だったと思います。

(広報副委員長 中西和則)

山形市蔵王倫理法人会

私が、初めて倫理経営講演会に参加したのは、3年前の新庄市で行われた会でした。これが、私の倫理法人会へ入会に至るきっかけでした。

山形市蔵王倫理法人会

あれから単会役員として、3回目の開催を経験し、お陰様で今年も予定していた参加者を上回る方々に参加していただき、本当に感謝致します。

例年と違い、今年は準備に取り掛かるのが早く、開催2か月前にはパンフレットができており、役員総出で会員の皆様や、知り合いで参加して頂きたい方へ地道に訪問した結果だと思えます。その中でも、役員の倫理経営講演会を成功させようという強い心があつたからこそと思います。

今回のテーマは、「繁栄の法則」倫理経営のすすめ」でしたが、倫理経営とはどのようにやるのか、そして何から始めるのが、改めて具体的に整理が出来ました。一番心に残ったのは、実践を毎日コツコツ行い、実践レベルを上げていくことを意識することでした。

また、専任幹事という役をいただき、他の単会の倫理経営講演会にも参加させていただくことが多くなりましたが、色々な切り口により理解が深められるので、他の単会の講演会に参加することもお勧めです。

最後に私が入会のきっかけを頂

山形市蔵王倫理法人会

肝要とのメッセージを頂き、また、事業の発展は、感謝出来る心があればさらに力強く進めるのだと感じました。今回の講師陣には早速お礼の葉書を送らせて頂きました。この度の出会いで、当会場のクアハウス基点支配人様と国武様の配慮により、ダンテ4号店として、商品を常設して頂く運びとなりました。当日は、講演会参加者が実際に商品を購入出来た事で、事業体験をレジメ以外の形ある物で報告して頂いた事に感謝申し上げます。

(副会長 奥山浩哉)



山形市蔵王倫理法人会

けた様に、今回は今まで以上に、一人でも多くの方に倫理を学ぶきっかけになるような会にするため会長以下役員全員で精進致します。

(専任幹事 中鉢義邦)



役が何とか庄内空港までお送りし、内田氏は東京までお帰りになることが出来ました。そして、この度3年越しで再び内田氏をお迎えして倫理経営講演会を開催することができました。改めて、今回倫理経営講演会を開催できたことに感謝するとともに、2011年の幻の倫理経営講演会と東日本大震災の記憶を風化してはならないと思いました。

(広報委員長 渡辺英一郎)





山形市中央倫理法人会

平成26年4月16日(水)午後6時から山形国際ホテルにて開催されました「倫理経営講演会・繁栄の法則」には、235名の出席をいただき、盛況のうちに開催できました。

当日は、県の役員の皆様はもちろん、山形市など近隣単会の役員並びに会員にも多数ご出席を、いただきました事、誠にありがとうございました。

今回は、講演の前に「企業の活性化は、朝のスタートにある」という事で、会員企業に「活力朝礼」の



実演をご覧いただきました。大変、声も出てピリッとした空気が会場を包み、その後万来の拍手が会場をおおい、会員企業の皆様には、十分に感動を与えることができたと思います。

今回、一般社団法人倫理研究所の新原隆一参与から「繁栄の法則」と題し、ご講演いただきました。いろいろな経験・例題等を引用され、より分かりやすく、非常に気づきの多いお話をいただき、感銘致しました。日常生活において、ただ漠然と過ごしているか、否、目前の小さな実践、その深い喜びを掴むところに、倫理経営の醍醐味がある。少し分かったような気がしました。

会場の多くの出席者の方々も、時間が過ぎるのも忘れて聴き入った様に見えましたので同じ感動を覚えたものと確信いたしております。ご参加いただきました方々には、重ねて御礼申し上げます。次回もお楽しみにお待ちしております。

(実行委員長 高橋順弘)

山形市倫理法人会

734回 モーニングセミナー

7月15日、山形市倫理法人会第734回目のモーニングセミナーが開催されました。

夢かぎりなく斉唱から始まり、朝の挨拶、十七カ条斉唱、万人幸福の第九条輪読、小松会長の挨拶と次第が進み、そして、庄内中央倫理法人会富樫幸吉会長をお招きしての講話が始まりました。テーマは、「二代目社長の実践」ということで、バブル崩壊による経営破綻サラリーマンが二代目社長、返済金の重圧、C型肝炎の治療、職員の退職等と富樫会長自身の体験を交えた内容の



お話でした。

中でも、C型肝炎の話の中で、肝硬変になったら引き返せないという話と、インターフェロンを投与した話は、私自身も投与した薬なのでとても親近感が湧いたのと同時にこれからも最善の注意をもって仕事と生活をしていかなければならないと思いました。

また、「与えられた時が自分を磨く時」と言われた時、なるほどと思うと同時に、「はい、よろこんで」というフレーズが頭を過ぎり、「人を改めさせよう、変えようとする前に、まず自ら改め、自分が変わればよい」と言われた時は、なかなか自分が変わるのには容易ではないぞと思いつながらお話を拝聴させていただきました。

講話が終了し、連絡事項。誓いの言葉で第734回モーニングセミナーが終了いたしました。参加人数33社、42名出席でした。

講話をいただいた富樫会長、本当に有り難うございました。今回は第735回、第736回、第737回…これからもモーニングセミナーは続いていきます。

(広報委員長 金子明)

上山市倫理法人会 クアオルト 健康ウォーキング

7月4日(金)第401回上山市倫理法人会モーニングセミナーの会場を屋外に移し、上山市温泉クアオルト協議会の3名の講師を招き、蔵王上山気候性地形療法コースクアオルト健康ウォーキングを開催しました。健康第一、大病を経験した晋道会長の会員皆さんの健康づくりに取り入れて頂ければと、熱い思いが感じられました。脈拍数を計測後軽いストレッチをして出発。あいにくの小雨、カッパを着たり傘をさしたり、菅笠にステックを持って富士登山にも行けそうな本格



派の人様々。虚空蔵山コース、西山コース、葉山コース、三吉山コース、今回は月岡ホテルから3分で行ける西山コースでした。気候性地形療法のキーワードは「冷たくさらさら」と「頑張らない歩き方」が基本だそうです。自分の体力に合わせ最初はゆっくり歩き慣れてきたら登り道は「160歳年齢」の心拍数を目安に歩き下り道は心拍数にとられず、けがをしないよう無理をせず歩きましょうとアドバイスを頂きました。雨に濡れた青葉の香りのする林の坂道を登った健康チェックポイントで脈拍を計測し心地よい汗を拭きながら、もう少し痩せんなねな、毎日歩がんなねなと男性は反省しきり。日頃の節制の違いか女性は元氣。蔵

王連峰見れる見晴らしの良いポイントで全員で大きな声でヤッホーと合唱し久しぶりにこだまを聞き気持ちの良い朝でした。季節にはヒメサユリが咲き珍しいハッチョウトンボが生息する百枚田を

天童市倫理法人会 会長交代そして 新入会員

眺め、明日がホタル祭りだという西山地区の沢沿いを下り約1時間のコースでした。貴重な体験有り難う御座いました。他会の会員さんも是非体験しては如何でしょうか。

(熊谷民治)

天童市倫理法人会

水沢正志会長は、場の雰囲気づくり、そしておひとり々への気遣い、また自ずから動く実践者で、私達会員は会長のおちゃめな行動に笑いながら楽しく参加させていただいております。今度3年間勤め上げた会長から相談役へと移られます。そして、6月・7月に入会された御三人は、会員からの勧めもあり、モーニングセミナーに数回参加され入会を決めた方々です。

入会の理由を伺ったところ、「飲み会(観櫻会)に誘われたのがきっかけで、モーニングセミナーに参加してみたら、ちょっといいかな(内容)と思ったので」、「謙虚さを学べる場所だと思って」、「最初はお付き合いで入会したのですが、モー



ニングセミナーに参加してみて、あーいさつとか大切な事を話されているんだなと、教えるに気づかされたので、などだそうです。

水沢会長の笑顔につられ新会員の方々も(少し引きつりながらも?)この笑顔。きっとこれから一緒に倫理を学ぶにつれ、自然と満面の笑み変わって行くことでしょう。

水沢会長、これまで御尽力ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します！

新任の会長も決まり、これからも天童市倫理法人会は楽しみです。モーニングセミナーでお待ちいたしております。

(広報委員長 今田由美子)

Good SMILE!

この人の笑顔に出会うと
思わずつられて笑ってしまう
我が単会の
「笑顔達人」大集合!

笑顔で
おはよう



第8回広報委員会にて
寒河江市
中西 広報副委員長



米沢市
青野 広報委員長

上山市は
谷江専任幹事が
来てくれました!



気持ちだけ
強く参加!
天童市
今田 広報委員長



広報「最上川」広報委員



「恋するフォーチュンクッキー村山市 Ver.」北村山倫理法人会も参加!

AKBの楽曲「恋するフォーチュンクッキー」を仲間同士で踊って動画サイトにアップするという全国的なムーブメント。村山市に嫁いできた女性二人が発起人となり、様々な団体に声を掛け「恋するフォーチュンクッキー村山市 Ver.」が実現しました。北村山倫理法人会の佐藤普及拡大委員長がFBで情報を発信して早坂会長に「是非参加して会の拡充に役立ってたいのですが!?!」と相談。速攻決議となり3月8日のMS後に練習をして収録!みごと踊りきって、「恋チユン村山市 Ver.」の仲間になりました。



村山 恋チユン 検索

(動画をご覧になるには検索サイトで、「村山 恋チユン」と入力。YOUTUBEのサイトがトップに表示されます)

恋チユンで
おはよう



北村山倫理法人会

今回は、広報誌「最上川」の編集に携わっている広報委員の皆様をご紹介します。最上川は年4回発行。発行時には2回の編集会議が行われ、取材及び表紙を飾る会員企業様の選定や企画の検討、記事の構成を参加者全員で行っています。

写真は、第7回広報委員会後の懇親会にて。上段右から、長井市 菊地 広報委員長、土屋 県副幹事長 (前県広報委員長)、五十嵐 県会長、北村山会員 板垣さん、寒河江市 鈴木 広報委員長 下段右から、五十嵐 県広報副委員長、菅野 県広報委員長、鶴岡市 佐藤 広報副委員長

最上川をよむ。

「庄内、最上、村山、置賜と全県を悠々と結ぶ山形の母なる川最上川。最上川をテーマに」
写真・絵画・句・書を掲載し私達が誇る最上川を、様々な角度や視点でよみます。

「最上川源流を訪ねて」

菅野広報委員長の願いを代行し、最上川源流を求めて日帰り旅にでかけました。一軒宿の秘湯大平温泉、その先の最上川源流の名瀑「火焰(ひのほえ)の滝」に行くには、米沢から車で約1時間30分、更に徒歩20分。滝を間近に見る為には更に20分。その道のりは甘くなくなつた...! 這々の体で辿り着いてこそ味わえる美しい渓谷と温泉。細道運転と勾配歩きに自信の有る方には是非お勧めします。

源流説は諸説ありますが、国土交通省で河川法の改定がされた際に松川が最上川の一つの流れとして統一され、その上流部、西吾妻山にある「火焰(ひのほえ)の滝」が源流と定められました。1100年前ここに辿り着いた修行僧が大平温泉を発見。夕陽に映えた滝が眩しく輝き、轟々たる瀑布を交えまじい様を表したのが名前の由来と言われています。(滝不動明王看板より) 撮影:五十嵐久仁子

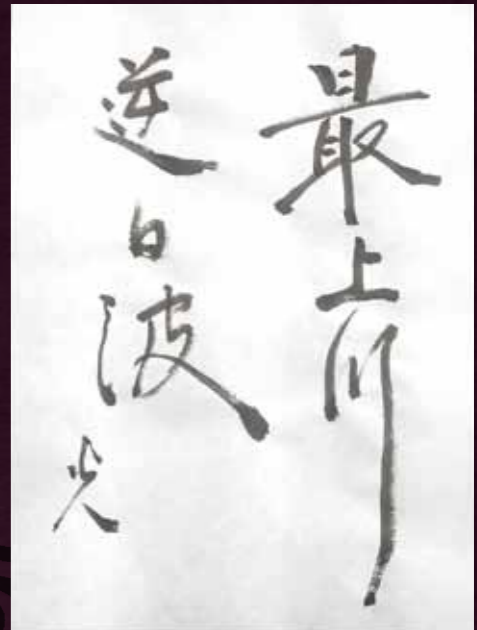


最上川源流の碑

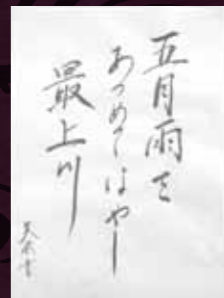


火焰の滝

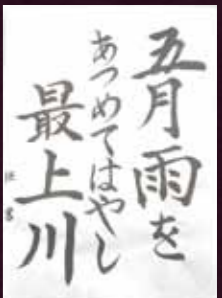
5人以上乗ってはいけない吊り橋(上) 開放感ある露天風呂(下)



木村英世先生



菅野美奈子



菊地 佳



「村山にて」撮影:(株) 光洋印刷

「最上川流域の偉人」

酒田市倫理法人会 佐藤 広報委員長
最上川河口をさかのぼること24kmに清川という地域があります。松尾芭蕉が羽黒山参りに下船した、船つなぎの松があるところです。幕末の志士清河八郎(幼名齋藤元司)の生誕の地です。幕府が内外の対応に翻弄される中、寺田屋事件の後、松平春嶽への「国家急務三策」の建白書により、將軍護衛のための浪士組を編成、上洛を果たしたが、京都壬生村新徳寺にて尊皇攘夷の魁となることを本分とするを号令、反対した近藤勇、芹沢鴨、土方歳三ら13名が後の新撰組を結成するにいたるきっかけとなった。天皇より勅ジョウを賜うことを成し遂げたが、志半ばで幕府の刺客により34歳のとき暗殺された、歴史小説家司馬遼太郎は、幕末は、清河八郎が開き、坂本竜馬が閉じた、と称した。政治の大転換の明治維新偉業の魁とされており。政治の



左立谷沢川手前~右最上川



松尾芭蕉下船の地



清河八郎菩提寺 歡喜寺



清河八郎記念館

倫理ビギナーの
素朴な疑問
にお応えします。

倫理法人会に入会したけれど、あまり活動に参加できず、倫理実践のハードルが高くなってしまった会員の方に向けて、いまさら聞けない素朴な疑問に優しくお応えします♪

Q. 朝が忙しくなかなかモーニングセミナーに行けません。必ず輪読する葉があると聞いたのですが、どんな内容ですか？

A.

純粹倫理という生活法則のエッセンスを凝縮して、わかりやすい標語にまとめた「万人幸福の葉17カ条」を皆で輪読しています。

倫理運動の創始者・丸山敏雄が、膨大な執筆活動、講演、個人指導の中から抽出した17カ条は、人生の難問を明快に解決する集大成でもあります。標語の中には古来から言われていたこともあれば、一見常識からはずれたようなこともあります。どれも実際の生活に活かせることであり、無条件にそのまま実行するところにこの言葉の値打ちがあります。前号に引き続き、6項目の要点をご紹介します。

万人幸福の葉17カ条

6 子は親の心を実現する名優である

【子女名優】しじよめいゆう

子は親の顔形から立ち居、ふるまい、クセにいたるまでよく似ている。のみならず、親の心や行為をそのまま映し出し、身代わりに実演する。子供が悪くて困るといふとき、子供を責めずに、原因は親にあると自覚し、親自身が改めることが先決であろう。



7 肉体は精神の象徴、病気は生活の赤信号

【疾病信号】しつぺいしんごう

肉体は心の容れ物であり、心のあらわれ。また、病気は一般に知られている原因の奥に、真の原因がある。それは心の不自然なゆがみや偏りが、自分の肉体に赤信号としてあらわれたものだ。朗らかな豊かなるおいのある心は、病気を治癒するほどの力をもつ。

8 明朗は健康の父、愛和は幸福の母

【明朗愛和】めいろうあいわ

ひとりの人が朗らかだと、そのまわりまで明るくなる。明朗な心は、肉体の健康、家庭の健康、事業の健康のもと。また、愛によって和がなりたち、すべてが成就する。明朗と愛和の精神こそ、日常生活でもっとも心がけるべきことである。

9 約束を違えれば、己の幸を捨て他人の福を奪う

【破約失福】はやくしつぷく

大自然の決まりや人間同士で決めた約束を破ると、破った人が不幸となる。破られた相手の方も不幸になる。約束はどんなことでも守り抜こう。まずは時間を守ることから始めよう。

10 働きは最上の喜び

【勤労歓喜】きんろうかんぎ

人はただ生きていくだけでは何の意味もない。働いてはじめて生きがいがある。人は真心で働くときに、必ず「喜び」という報酬が得られ、肉体の健康も、物質の恵みも、地位も、名譽もついてくる。喜んで進んで自分の仕事に邁進しよう。

11 物はこれを生かす人に集まる

【万物生々】ばんぶつせいせい

物は死んでいるのではなく、人と同じように生きていく。だから大切に使うと持ち主のために喜んで働き、粗末に扱えば反抗したり、ときには喰ってかかる。とりわけ物を象徴し、すべての財を具象した金銭は、もっとも敏感な生き物である。金銭はその人の努力に比例し、欲心に反比例して集まってくる。

広報委員会から・お知らせ
Information

● モーニングセミナー参加時のマナーについて

開始5分前になりましたら、机の上のペットボトルや湯飲みは片付けましょう。

● 書籍販売について

9月より倫理法人会事務局での書籍販売は行わない事となりました。書籍ご希望の方は、倫理研究所HP「出版のご案内」よりご購入ください。

編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 菅野美奈子

26年度の広報誌最上川は、デザインを変え35号から38号まで発行いたしました。皆さまには、大変お忙しい中原稿や写真等、様々なご協力をいただき本当にありがとうございました。

広報委員会に関わらせていただき、山形県倫理法人会のこと、単会の活動をより深く知ることができました。原稿を依頼するのはとても恐縮しますが、各単会の様子や素晴らしい活動を皆さんに知っていただくためにも、その単会の

方に原稿を書いていただくしかなく、行事等を記録として残し、県内外に広報できる手段の一つですので、大いにこの「最上川」を活用していただきたいと思っています。身近なお顔が載っていると、喜んでいただけるのではないかと、できるだけ多くの皆様のお顔が見えるような企画を考えてまいりました。その分広報委員の皆様にはご苦勞をおかけしました。

27年度は、また新しい体制で広報誌最上川を作ってまいります。皆様の広報誌ですから、その活用方法にもぜひご意見を頂戴いたしたく、今後とも「企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を、広報誌最上川に笑顔を」でどうぞよろしくお願ひします。



発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 平成26年8月29日

